

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」	
①知識・技能の習得	▲
②思考力・判断力・表現力の育成	▲
③学習意欲・学習習慣	○
「確かな授業力」	
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○

平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B
自主的・自立的な生活 ・基本的な生活習慣の確立 ・集団への帰属感と一員であることの自覚の向上	() 昨年 3 (3)
基礎学力 ・基本的学習習慣の定着 ・かかわり合いでの充実した言語活動による表現力の育成 ・NRT, 学習状況調査などの結果数値向上	3 (3)
教師の研修 ・指導力の向上	3 (3)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
1 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> 小・中連携研究会を活用した学習習慣の定着 研究主題の具現化を目指すための校内授業研究会の実施 中一ギャップを解消するための小中で連携した学習指導 	() 昨年 ○ (○) ○ (○) ○ (○)	○家庭学習やノート指導の意識 ○教科を越えて行った指導案検討と協議 ○小6から中1への進学に向けて準備する内容の確認 ▲9年間を見通した系統的な学習指導
2 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●評価時間の確保とフィードバックの時間の確保 ・学習内容の定着に効果的な「かかわり合い」の内容や形態の工夫 ・言語活動の充実による表現力の向上 	○ (▲) ◎ (○) ▲ (▲)	○評価問題の吟味と授業内評価の定着 ▲達成不十分な内容の補充学習 ○「かかわり合い」の場の設定による協働的な学習充実 ▲各教科における到達目標やキーワードの活用が明確でなかった。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)